

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program



広島経済大学図書館正面入り口

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第5号(2009.10.1 発行)

(なお、本メールが不要な方は、tk-oki@hue.ac.jp まで、ご連絡ください。)

【目次】

- ・巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・細井謙一

- ・ロンドン紀行・・・・・・・・・・杉田武志
～17世紀 イギリス東インド会社の会計帳簿を求めて～

- ・ゆっくり丁寧に・・・・・・・・・・山本貴裕
～英語とピアノの意外な共通点～

- ・CP2 学期の募集を締め切りました・・・・事務局より

■巻頭言

10月1日といえば衣替えのはずですが、今年はまだまだ蒸し暑い日が多く、夏物の活躍する時期がしばらく続きそうです。

そこで今回のCP通信では、蒸し暑い衣替えの日にはぴったりの清涼剤(?)を二つお届けしようと思います、

一つ目は、杉田武志講師の研究活動のご紹介です。杉田講師は、17世紀イギリス東インド会社の会計制度という、わが国ではほとんど研究されていない貴重な研究です。今日の会計制度や会社制度が、

いかにして出来上がったか。現代のビジネスを、その源流をさかのぼって解き明かします。その杉田講師が、歴史資料を求めてロンドンの大英図書館まで調査に行かれた顛末を、エッセイ風にまとめていただきました。気鋭の若手研究者の、はつらつとした挑戦物語をお楽しみください。

二つ目は、山本貴裕教授による研究と趣味の関係の話です。山本教授は、アメリカの宗教史がご専門で、その関係で英語が大変ご堪能。本学でも英語を教えてください。しかしピアノの腕も玄人はだしで、ご研究の息抜きにリストやショパンを弾かれている様子を拝見するにつけ、天は二物を与えずという言葉が疑いたくなります。そんな山本教授が、「英語にもピアノにも共通する大切なことがある」と言われるので、それについてエッセイを書いていただきました。ちょっと勇気づけられるエッセイです。

キャリアアップ・プログラムの講師陣は、研究や趣味の面でもいろいろと多彩な顔を持っています。受講者の皆さんとも、単に講義を通じたお付き合いだけでなく、様々なお付き合いをさせていただけるようになれば、講師陣一同、望外の喜びです。



広島経済大学

経営学科主任・教授

キャリアアップ・プログラム・コーディネーター

細井 謙一

■ロンドン紀行

～17世紀イギリス東インド会社の会計帳簿を求めて～

3学期「グローバル・ビジネスの事例研究」担当(分担)

講師 杉田武志

夏休みを利用して研究史料の調査などのためにロンドンへと行ってまいりました。というのも、私の研究テーマが、イギリス東インド会社の会計研究であり、その東インド会社に関する多くの史料がロンドンの大英図書館(British Library)に所蔵されているからです。東インド会社は、1600年に東インドにある香料、胡椒の獲得を目的として設立され、その後、大英帝国の発展に大きく貢献した会社でもあります。近年では、映画『パイレーツ・オブ・カリビアン』にも登場していますね。



【大英図書館】

さて、目的地である大英図書館ですが、世界中の写本や稀覯本などをはじめ膨大な史料が所蔵される世界でも有数の研究図書館として知られ、ロンドン市内のターミナル、セントパンクラス駅から歩いて数分の場所にあります。

到着後、東インド会社の史料、特に会計帳簿や理事会の議事録などを Reading Room にて確認していきました。当然ながら今から 400 年近くも前の会計帳簿ですから、慎重に扱わないと破れてしまいそうなくらい、ぼろぼろなのです。ただ、手に取ると悠久の時を越えた歴史の荘厳さを感じずにはいられない代物です。羊皮紙で作られた帳簿の頁をめくりながら、当時の会社における簿記会計の意義は何だったのかを想像しました。こういった当時の史実に対して帳簿などの史料批判に基づき正しい解釈、認識に至ることが歴史研究の一つの意義となるわけです。



【Reading Room 前にて、現地であったインド人研究者に撮影してもらう】

また、Reading Room には世界中の研究者が集まってきます。トップ・ハットに正装のイギリス紳士、ターバンを巻いた男性、中国の研究者と中国語で会話をするイギリス人など。しかも、彼らの多くが毎日同じ Reading Room に来て研究に没頭している様子を見かけるわけです。研究者ばかりなので、当然ながらお互いの研究内容も気になります。私も現地の大学に勤めている方に話しかけられましたが、「そので

っかい帳簿何なん？(日本語訳)」、「どういった研究してんの？」と聞かれたりしました。フレンドリーな方が多くて、こういった会話を楽しむことができるのもこちらでの醍醐味でしょう。

ところで、大英図書館での作業を終えてから、晩御飯を食べに行くのも滞在中の楽しみの一つでした。しばしばイギリス料理はまずいと評判ですが、今回、食べにいったパブやレストランはあたりでした。特にフィッシュ&チップス。簡単にいえば魚と芋のフライ。これがおいしかった。皆さんもイギリスに行かれた際にはぜひ食べてみてください。



【フィッシュ&チップス】

約1週間の大英図書館での作業は私の研究にとって意義のあるものでした。研究の最前線に身を置くことで、日々の研究生活における積み重ねの重要性を改めて実感することもできた出張となりました。

3学期に開講する「グローバル・ビジネスの事例研究」の中で、今回の出張の成果を踏まえ、グローバル・ビジネスの原点について皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

【参考】

杉田先生の研究室紹介(細井ゼミブログ) http://blogs.yahoo.co.jp/kn_hosoi_hue/21643285.html

■ゆっくり丁寧に

～英語とピアノの意外な共通点～

3学期「英語によるビジネスプレゼンテーション」担当(分担)

教授 山本貴裕

私は広島経済大学で主に英語を教えています。趣味はピアノです。英語とピアノ。最近、これらの一見何の関係もないような2つのことが、実は深いところにつながっているような気がしてきました。英語が使えるようになるということと、ピアノが弾けるようになるということは、「練習」によっていかに「感覚」を身につけたか、という点で共通しています。私の練習のテーマは「ゆっくり丁寧に」です。

これは私が小学校の頃、ピアノの先生によく言われていたことです。30年たった今でも相変わらず、難しいところになればなるほど焦って早くなり、自滅してしまいがちです。そんな時は先生の言葉を自分に言い聞かせ、極限までスピードを落として、一つ一つの音符の感覚を指に覚えこませていく練習をします。い

かにイメージできるかが肝心です。

そしてこのプロセスは英語の学習にもそっくりそのまま当てはまるような気がします。一つ一つの語やフレーズをいかにイメージできたかが大事です。とにかく「ゆっくり丁寧に」「練習」すれば、だんだん感覚がつかめてくるのです。私は大学時代に英語を本格的に勉強し始めましたが、無意識のうちに小学校からしてきたピアノの練習の延長をしていたのかもしれませんが。そういえば、大学時代以降、ピアノがあった自宅から離れたこともあって、ピアノからすっかり離れていました。再びピアノに取り組み始めたのは 40 歳少し手前になってからです。(現在 43 歳)こうしてみると、私にとっての練習の対象は大学時代を境に知らない間にピアノから英語に移り、そして最近になって初めてその 2 つが融合しつつあるのかもしれませんが。

もし英語力に行き詰まりを感じている人がいらっしゃれば、それは英語を学び始めるのが他人より遅かったからでもなく、英語の才能がないからでもなく、ただ単に「ゆっくり丁寧に」練習していないというだけのことなのかもしれません。3 学期の講義で、「ゆっくり丁寧に」英語を練習してみませんか。



【高校の時に弾きこなせなかったショパンの「革命」に再挑戦中】

【参考】

山本先生の研究室紹介(細井ゼミブログ) http://blogs.yahoo.co.jp/kn_hosoi_hue/26537546.html

■事務局より

2 学期受講生募集締め切りました

キャリアアップ・プログラム2学期開講分(10月・11月)につきましては、今週末の9月18日をもって、募集を締め切らせていただきました。

いよいよ10月13日火曜日の「マーケティング事例研究Ⅱ」を皮切りに、2学期の講義からスタートします。この2学期より本学が今年の6月に購入しました立町キャンパス(旧ロプロビル)での開講です。

地図は本学ホームページ <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/place.html> もしくは CP 通信第3号をご覧ください。

また、現在の募集状況は以下の通りです。

【受講状況】(10月1日現在)

月曜日	ゲーム理論の基礎	33名
火曜日	マーケティング事例研究Ⅱ	22名
水曜日	統計データ分析の基礎	29名

木曜日	アグリビジネスの可能性	13名
金曜日	キャッシュフローマネジメントの基礎	25名
11月27日	サマリーセッション	31名 ← 100名様まで受け付けます

サマリーセッションは、CP 講師陣によるパネルディスカッションです。2 学期開講の 5 科目の講師陣が勢ぞろいし、ホットな時事問題を分析していきます。受講生の皆さんにとっては、各講座で学んだ知識が時事問題とどう関連するのかを学ぶ、応用練習の場でもあります。またセッション終了後は交流会も開催いたしますので、ぜひご参加ください。参加される方はメールで結構ですので事務局までご連絡ください。多数の皆様のお越しをお待ちしています。

サマリーセッション以外でも、定員に余裕のある科目につきましては、開講日直前まで可能な限り対応させていただきますので、事務局までご相談ください。

また、既に 3 学期分(1 月・2 月)につきましても、ウェブサイトにて受講申込ができるようになっておりますので、ぜひご検討ください。

2 学期開講科目

<http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/2term.html>

3 学期開講科目

<http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/3term.html>

ご意見、ご感想は事務局の沖 tk-oki@hue.ac.jp までお願いいたします。



中庭より図書館を望む

Be Student-oriented
—すべては学生のために—

HUE 広島経済大学
CAREER UP PROGRAM